

# 「防災」は口実。戦争・治安出動訓練許すな

9月1日、「都・板橋区総合防災訓練」が行われようとしています。板橋区の城北中央公園や近隣の小中学校などを使い、わずか約1キロの距離しかない練馬駐屯地から自衛隊が参加する戦争・治安出動訓練です。絶対に許すことはできません。

## 「首都防衛」と戦争をあおる小池知事

小池都知事は、7月の都知事選で「首都防衛」を公約に掲げ、「ミサイル攻撃に備えた地下シェルターの整備」を打ち出しました。

既に今年1月、都営地下鉄「麻布十番」駅構内で地下シェルター整備を始めると発表し、24年度当初予算案に2億円を計上。1月15日には都営地下鉄東中野駅と周辺で「弾道ミサイル避難訓練」を実施。「(核を含む)化学物質による被害」を想定した「救出・救助」訓練として、練馬駐屯地の第1特殊武器防護隊(都内唯一の化学科部隊)まで動員しています。戦争に絶対反対するのではなく、中国・北朝鮮などへの「脅威」をあおって核戦争までやるといふのか!? 絶対に許せません。

そもそも小池知事は、歴代都知事が行ってきた1923年9・1関東大震災時の朝鮮人犠牲者追



戦争指揮官よろしく  
装甲車に乗る小池知事

悼式典への追悼文送付を、都知事就任の2年目から7年連続で拒否し続けてきた人物です。4月に練馬駐屯地で行われた陸自第1師団創立式典では、重機関銃の銃座をもつ装甲車に搭乗し、戦争指揮官よろしく巡閲しています(上写真)。

小池知事は、岸田政権と並んで、差別・排外主義を煽って、首都から戦争動員体制をつくり出す旗振り役を担っているのです。実際、「ミサイル避難訓練」会場での挨拶で述べた「『備えよ、常に』の精神を」とは、戦前「備えよ常に、祖国の為に」と掲げられた国民精神総動員運動のスローガン。「防災」口実の戦争訓練に絶対反対しましょう!

# 沖縄の怒りとともに、反戦反基地デモを!

沖縄で相次ぐ米兵による少女・女性への性的暴行事件。岸田政権は事件を把握しながら沖縄県に伝えず、隠ぺいしていました。すべての元凶は、中国侵略戦争一第2の沖縄戦に向かって強化される日米安保体制。沖縄の怒りは爆発しています。

練馬駐屯地など陸上自衛隊からも、多くの青年が沖縄・南西諸島や九州に送られています。自衛隊員の靖国神社への集団参拝は、「進んで戦争をしたい」という愛国主義を植え付けるためであり、同時に練馬駐屯地から繰り返される「市街地行進」訓練は、反戦デモなどに対する都内唯一の治安出動部隊として役割を果たさせるための訓練です。

しかし、自衛隊員の中途退職数は15年で最多(22年度)、採用率も募集計画の50.8%(23年度)で過去最低。若い自衛官が侵略出兵などしたくないことは明らかです。

自衛官の皆さん、家族の皆さん! 腐った岸田政権のために、若い命を落としてはなりません。侵略の銃を拒否しましょう。

9月1日の練馬駐屯地に戦争反対のデモと申入れをします。一緒に反戦の行動に立ちましょう!

関東大震災 朝鮮・中国人虐殺101年

国際連帯で戦争止める  
8・18いたばし集会

8月18日(日) 13時半~(開場13時)

高二三さん(在日朝鮮人二世、新幹社代表)  
お話し 森川文人 弁護士(「横浜事件」国賠訴訟など担当)

板橋グリーンホール  
504会議室

東武東上線「大山」駅 北口徒歩5分  
都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口徒歩5分

集会後、  
区役所前  
までデモ

改憲・戦争阻止! 大行進 東京北部/大行進板橋  
連絡先: 豊島区西池袋5-13-10-603 TEL03-6914-0487  
メール tokyohokubu-daikoushin@yahoo.co.jp

